



『知財の社会実装を加速する「SIGNATURE」メソッド』 ～スタートアップと大企業の戦略的シナジーによる日本経済のアップデート～

1. はじめに：日本の「失われた30年」を取り戻す鍵、「2つの知財」の融合

このたび入会させていただきましたロケットスタート株式会社です。私たちは、大企業で専門性を培い、その後も多様な知見とネットワークを広げてきた、還暦前のシニア世代が設立したスタートアップです。

私たちには心残りがあります。ビジネス人生の盛りを過ごした時期は「失われた30年」と呼ばれ、日本はいまだそこから抜け出せていません。この状況を打破し、日本経済社会をアップデートするために、私たちは「知財の社会実装の加速」という課題に正面から取り組もうと決意しました。

日本には活用されていない「2つの知財」が存在します。私たちはこれに上手に「点火」すればイノベーションの炎となり、その社会実装が加速すると考えています (IGNITE INNOVATION)。

①スタートアップの「革新的知財」：人材に宿る斬新なアイデアと情熱です。しかし、大企業のエグゼクティブへのアクセスや社会実装リソースを持たず、「ユニコーン」へとスケールアップする機会を逃しています。

②大企業の「潜在的知財」：長年の研究開発で蓄積された技術特許、論文、未実装の知見です。それら多くが事業化されず「眠ったまま」になっています。

私たちは、この2つの知財を戦略的にシナジーさせ、世界に伍するイノベーションを送り出すため、2025年7月にロケットスタート株式会社を設立しました。1980年代から米国・英国等に浸透しているSBIR/STTR（政府主導のイノベーション支援プログラム）、軍事色を帯びていたため日本に根付かなかったオープンイノベーションの成功モデルを、民間主導で社会実装する挑戦です。

2. ロケットスタート経営陣の「融合」とスペシャリストのネットワーク

この難易度の高いミッションに挑むため、異なる分野のスペシャリストが集結し、ネットワークの核となります。

- ・「金融・事業投資」：代表取締役 鈴木一穂（元日本興業銀行。国際金融・PEファンドのプロ。30件以上の事業投資を経験）
- ・「ブランディング」：取締役 鈴木聡史（元博報堂。大企業・ベンチャーのコーポレートブランディングを多数手掛ける）
- ・「事業開発」：専務執行役員 春山祥一（元日本興業銀行。金融、システム、ベンチャー起業・マーケティング・DXなどアカデミアとビジネスの境界領域を開拓。SBIR/STTR研究がライフワーク）

これら「経験・実績豊富なスペシャリストの融合とネットワーク」が、私たちの価値提供の源泉です。

3. コア・コンセプト：独自メソッド「SIGNATURE」

挑戦の中核をなすのが、2つの知財をマッチングさせる独自メソッド「SIGNATURE」です。これは「SBIR」「STTR」「Value Add」の3要素で構成されます。マッチングメソッドにかかる費用はスタートアップ側が原則は負担します。



① スタートアップから大企業へのエグゼクティブリーチ～ SBIR (Start-up Business Innovation Research) サービス～
 これは【スタートアップ → 大企業】のベクトルです。スタートアップが持つ「革新的知財」を大企業エグゼクティブに直接届ける面談機会をオンライン・オフラインで設定します。単なる営業代行ではなく、トップ層からの「是々非々のコメント」を引き出してスタートアップを鍛え上げ、面談前後の丁寧なフォローアップを通じて「共感」を「共創」へと導きます。

② 大企業からスタートアップへの知財・技術移転～ STTR (Startup Business Technology Transfer) サービス～
 これは【大企業 → スタートアップ】のベクトルです。大企業に眠る「潜在的知財 (埋もれた知財)」が「宝の山」になります。私たちは、パートナーとの協業による「知財俯瞰図」や生成 AI 解析を用い、大企業の「飛び地の特許技術」と、スタートアップの事業との意外なシナジーを発見します。スタートアップに大企業との提携機会を、大企業には「埋もれた知財」に新たな事業化の機会を創造します。

③ マッチングを「事業」に昇華させる伴走支援～ Value Add サービス～

SBIR と STTR という「点火」を、実際の「事業 (炎)」へと昇華させ大きな価値を創造する伴走支援です。金融・ブランド・事業開発の専門家集団として、資金調達、チーム編成、M & A、ブランド戦略までワンストップで提供し、イノベーションの社会実装を完遂させます。



4. 事業展開とグローバルへの挑戦

「SIGNATURE」メソッドは、プラットフォームとなる SaaS を構築し、メガバンク・地方銀行、VC/CVC、大学等の支援組織と「水平分業」し、エコシステム全体のプラットフォームを目指したいと考えています。将来的にはスタートアップの質向上と大企業の貢献度を可視化する「スコアリング」を開発し、オープンイノベーションの令和日本のモデルを、世界へと展開していきます。

5. 結び：JATES 会員の皆様へ

私たちの挑戦は、JATES の「科学技術と経済の融合と発展」という理念と軌を一つにするものと確信しております。皆様の企業に眠る「潜在的知財」を呼び覚まし、スタートアップの「革新的知財」と掛け合わせることで、日本経済の再興、すなわち「失われた 30 年」を取り戻すための力強い「ロケットスタート」を実現したいと考えています。

「知財の社会実装」を共に加速させるため、ぜひ一度、私たちロケットスタートにお声がけください。皆様のお力添えをいただけますことを、心より願っております。

文責・連絡先：春山 s.haruyama@rocket-start.com

詳細は、ウェブサイトをご覧ください。 <http://www.rocket-start.com/>

